

平成二十七年第一回鳴門市総合教育会議 議事録

八月四日十時三十分 市本庁舎三階会議室で開会 同日十一時四十六分閉会した

一、出席者（会議の構成員）

泉市長 安田教育長 寺田委員 巽委員 加藤委員 小松委員

一、会議の構成員の他会議に出席した者

事務局職員 三居戦略企画課長 前田戦略企画課副課長 大川戦略企画課係長 阿部戦略企画課

主事

その他職員 三木政策監 林事業推進監 荒川教育次長 天満教育総務課長 竹下学校教育課長

三栖生涯学習人権課長 八田学校教育課主幹 西條教育総務課副課長 池脇学校教

育課副課長 中山教育支援室長 小野木体育振興室長

一、傍聴者 なし

一、会議は 市長及び三居戦略企画課長が議事を進行した

一、議事の内容は次のとおりである

一、議事一 鳴門市総合教育会議設置要綱（案）について

一、議事二 教育に関する大綱について

一、議事三 教育行政に関する意見交換

一、三居戦略企画課長は 十時三十分 第一回鳴門市総合教育会議の開会を宣した

一、三居戦略企画課長は 議事一 鳴門市総合教育会議設置要綱（案）について 事務局に説明を

求めた

本件について 大川戦略企画課係長は 鳴門市総合教育設置要綱（案）について 説明した

一、三居戦略企画課長は 議事一 鳴門市総合教育会議設置要綱（案）について諮り 全員異議な

く承認した

一、三居戦略企画課長は 鳴門市総合教育会議設置要綱第五条の規定に基づき 議事の進行を市長

に求めた

一、市長は 議事二 教育に関する大綱について 事務局に説明を求めた

本件について 大川戦略企画課係長は 教育に関する大綱の概要について 説明した

一、市長は 教育に関する大綱の策定について 次回の鳴門市総合教育会議において 鳴門市教育大綱の素案を提示する旨を宣した

本件について 大川戦略企画課係長は 大綱の策定に向けたスケジュールについて 説明した

一、市長は 議事三 教育行政に関する意見交換 について教育長及び各委員に意見を求めた

教育長は 現時点において教育長として考える教育行政の課題について 「人口減少・少子

高齢化社会における取組」 「学力向上への取組」 「人権の尊重と道徳心・公共心の育成」

「家庭や地域を取り巻く環境変化への対応」 「グローバル化・価値観の多様化への対応」

「危機的な状況への対応」 「情報通信機器の急速な普及への対応」 「地域の歴史や伝統文

化の継承」の八項目について 説明した

市長は 意見交換については「子どもたちの世代に鳴門への愛着を育むことについて」をテーマとし 教育長及び各委員に意見を求める旨 要望した

異委員は 小学生の時は皆が持っている将来の夢が、中学生になると失われてしまっているのではないかと危惧しており 学校の授業におけるキャリア教育のあり方について 意見を述べた

加藤委員は 誇りを持って仕事をされている方々を学校に招き 仕事の魅力を伝えていくことについて 意見を述べた

寺田委員は 鳴門への愛着心を育むことも大切だが 市外・県外のみではなく、鳴門への愛着を持ちながらも世界に羽ばたいていく人材を育成することについて 意見を述べた

小松委員は 鳴門に就職先等がなく 帰りたくても帰れないのが現状であることについて 意見を述べた

市長は 働いて生活ができる環境をいかに作っていくかについて 意見を述べた

教育長は 学校で郷土の歴史や郷土に対する誇りを育むことはグローバル社会において一層求められており 人口減少社会において鳴門の良さを持ってして鳴門の子ども達を増やしていく必要性について また キャリア教育を学校・家庭・地域が連携して具体的な事業を進める必要性について 意見を述べた

市長は 鳴門に住み続けている人は鳴門の良さを実感できておらず 子どもの頃に鳴門の良さへの気付きを与えることが学校・家庭において重要であることについて 意見を述べた

教育長は 子どもの二十四時間の生活時間について 子どもの視線に立って見直しを行う必要性について 意見を述べた

市長は 例えば道徳の授業に板東俘虜収容所の友愛の精神を活かすことや 観光と自然を結びつけて渦潮の世界遺産化を教えるなどの工夫により 鳴門への愛着が育まれることについて 意見を述べた

教育長は 子どもたちが郷土に誇りを持ち 自尊心を高めることの大切さについて 意見を述べた

小松委員は 郷土愛があっても就職先がなければならぬことについて 意見を述べた

市長は これから起業家を育成していきたいこと また 起業家を育成するために何が必要か検討する必要性について 意見を述べた

小松委員は 学校の中では子どもの独創的な発想の芽が摘み取られる傾向にあるのではないかとのことについて 意見を述べた

教育長は 子どもの自由時間の中で 自分で関心を持ち 自分で活動をする時間の確保について 意見を述べた

加藤委員は 親が子どもに関わり過ぎていると考えており 子どもの独創性を育むためにも 子ども達だけの時間を確保し 自分の事を自分で考える 情緒を育むという環境への理解が家庭に必要ではないかということについて 意見を述べた

寺田委員は 情報通信機器の発達により 家庭と地域の関わり合いが少なくなっていると考
えており 地域社会が機能していない状況で子どものコミュニケーション能力を育てることの
難しさについて 意見を述べた

異委員は 情報通信機器の利便性は理解できるが 授業中でもゲームをしている生徒もあり
注意しても直らないことについて懸念している旨 意見を述べた

小松委員は 異委員の意見に対して 家庭での指導の大切さについて 意見を述べた

市長は 鳴門市教育大綱の策定に向けた教育長及び各委員の意見を求める旨 要望した

異委員は 地域の方が理解できるよう 分かりやすい言葉を採用することについて 意見を
述べた

加藤委員は 本日の意見交換で述べられた子ども達の鳴門への愛着を育むための施策が重要
であることについて 意見を述べた

小松委員は 学校の先生の負担が増えている中で 先生が家庭に対して強い立場に立って指

導できる大綱が必要であること また厚い冊子ではなく 簡単で分かりやすい大綱を作成することについて 意見を述べた

寺田委員は 核となるのは家庭教育であること また何ページにもわたる大綱ではなく 何点かに絞って大綱を作成して市民に提示することについて 意見を述べた

教育長は 教育委員会と民意を代表する市長との連携を深めながら 市民に分かりやすい大綱を策定することについて 意見を述べた

一、市長は 十一時四十六分 閉会を宣した